

木本小だより



令和3年度 第3号
2021年5月17日発行

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。また、このコロナ禍の中で、保護者・地域のみなさまのご理解・ご協力をいただき、子どもたちの学びを保障できておりますことに重ねて感謝申し上げます。

さて、先日来、熊野市内で新型コロナウイルスの感染者が確認されたことで、校内では、感染防止対策をさらに強化し教育活動に取り組んでいます。

5月11日に熊野市教育委員会から出された、「現在、熊野市の小中学校において、感染者は、確認されておられません。」というお知らせに安堵したところです。しかし、今後も学校・家庭・社会において感染のリスクをゼロにすることはできず、校内でも誰もが感染する可能性があります。

この「誰もが感染する可能性がある。」という状況を踏まえ、子どもたちとともに感染防止対策の重要性を確かめるとともに、今後自分や友だちが感染することを想定し自分自身の言動について考える学習を行っています。

5月14日に熊野市教育委員会から出された文書にある通り、校内に感染者が確認された場合や濃厚接触者、接触者として検査対象となった後の登校については、保健所の指導にのっとり行われています。子どもたちには、このことを発達段階に応じ指導するとともに自分や友だちが感染したり、検査を受けた後に登校するとき、安心して登校できるよう学級・学校全体で考えていきます。

また、見えないウイルスへの不安から起こる偏見・差別、誹謗・中傷は許されない行為であることを発達段階に応じ指導しています。

今後も「感染」に関わり、子どもたちには、様々な不安が生じることと思います。しかしながら学校は、「すべての子どもたちの安心・安全を守る」という信念で教育活動を続けてまいります。

ご不明・ご心配なことがありましたらいつでもご連絡ください。

保護者のみなさまにおかれましても、正確な情報に基づいた冷静な行動と子どもたちが安心して学校生活を送れるようなお声掛けをお願いします。

